



## 2021 年度教会標語

「イエス・キリストは、きのうも今日も、また永遠に変わることはない方です。」

へブライ人への手紙 13章8節

2021 年度は、「教会設立 50 周年教会宣言文」の (1) にあたる「礼拝を中心とした信仰生活を送り、神を賛美します。」を主題とします。

この主題のもとに、へブライ人への手紙 13 章 8 節を教会標語といたしました。

### 1. 「あなたがたに神の言葉を語った指導者たちのことを」

へブライ人への手紙 13 章 7 節（教会標語の 1 節前）には、「あなたがたに神の言葉を語った指導者たちのことを、思い出しなさい。彼らの生涯の終わりをしっかり見て、その信仰を見倣いなさい。」とあります。2020 年度は、天に召された教会員が 7 名ありました。特徴的なことは、長年教会生活をされてきた方々だったということです。

模範となる指導者たちの、忠実で信仰深い生き方を思い出すことによって、わたしたちも信仰者として励まされます。彼らは忠実に神の言葉に生き、それを証した語り手でした。み言葉に忠実に生き、へブライ人への手紙 13 章 8 節のみ言葉にある同じイエス・キリストを信じていたのです。このキリストを見続け、その言葉に聞き、それに従って生きることによって、わたしたちもまた「神の言葉を語る指導者」となり、「あの方々のように生きたい」と、あとに続く者たちが起こされるように祈りたいと思います。

## 2. コロナ禍にあって

2020年度は、コロナウイルスに始まり、コロナウイルスに終わる1年でした。

コロナウイルスに翻弄され、大きく行動が制限され、先が全く見えない年でした。コロナウイルスのために、健康面や生活面でたいへんな苦しみに遭った方々も多くいました。こんな大変な時だからこそ、苦しむ人々のことを覚え、寄り添い祈り、キリストの福音を届ける使命が教会にあります。

主イエスの弟子たちが、夜の真っ暗なガリラヤ湖で嵐に遭い、命の危険な状態にある時、その嵐の中でも、主イエスは、湖の上を歩き弟子たちの前に立ち「わたした。恐れることはない」(ヨハネによる福音書6章20節)と言われ、弟子たちを目指す地に導かれました。このキリストが今も聖霊によって共にいてくださいます。聖霊が私たちのうちに働いてくださり、愛の業と福音宣教のために、わたしたちに力と知恵を与えてくださいます。

2021年度もコロナウイルスも完全な終息にはもう少し時間を要することと思います。例年通りの活動ができないかもしれませんが、今ある状況の中で、礼拝を中心とした生活に努め、最大限伝道に努めていきたいと思ひます。